

予算	款	項	目	決算書
	8	4	1	268 頁

目名
都市計画総務費

事業名称
都市計画総務事業

1. 概要

目的	快適で秩序ある都市を形成する	対象	市民
事業概要	○都市計画総務事業 ・都市計画に関する事務		

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	都市計画総務事業	事務用品等	需用費	397	92			21	71	3
計				397	92	0	0	21	71	

2. 指標設定

成果指標	指標名	秩序ある都市形成		目標年度	H27	指標の設定理由				
	数値					総合計画／後期基本計画において、基本施策(2-1-2)の目標としているため				
活動指標	指標	a	都市計画マスタープラン策定	b	都市計画区域の見直し	c	都市計画施設の見直し	d		
	数値	目標	策定済	目標	—	目標	—	目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
秩序ある都市形成		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a	都市計画マスタープラン策定	—	完了	—
b	都市計画区域の見直し	—	一部完了	—
c	都市計画施設の見直し	—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
未着手の都市計画施設がある。
対応（改善点等）
都市計画の見直しを進める。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

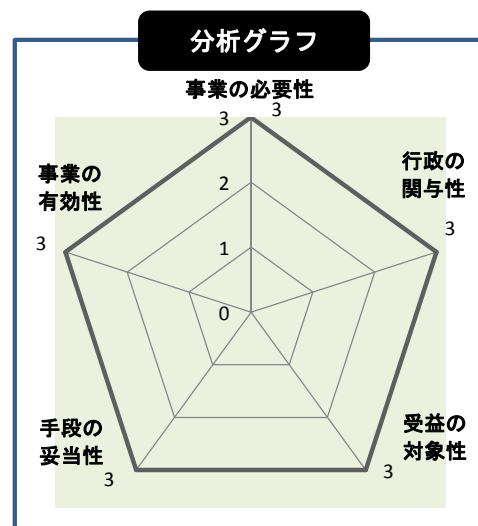
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		3,870	2,570	92	472
うち経常経費		258	964	92	472
財源内訳	国費				
	県費	9	6		
	市債				
	その他	40	39	21	2
	一般財源	3,821	2,525	71	470
うち経常		209	919	71	470
事業費に係る人件費		2,847	2,795	2,791	2,833
事業費に係る人役		0.65	0.65	0.65	0.65

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
必要事務経費である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 快適で秩序ある都市を形成するため都市計画は必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 都市施設は誰もが利用する
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 都市計画の見直しには住民の合意が必要
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 適切な事務をしている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	都市計画の見直しを進めること。